

Kitakyushu Foreign Trade Association

GLOBAL VIEW

2026WINTER No.75

北九州貿易情報「グローバル・ビュー」2026年・冬号

- 言志私録 ● 『Cool Head, but Warm Heart (冷静な頭脳と温かい心)』
財務省 門司税関長 弓削 州司 1
- 新年挨拶 ● (公社)北九州貿易協会 会長 小野 裕和 / 北九州市長 武内 和久 2
- 特集 ● 未来へ羽ばたく北九州空港 4
- 事業紹介 ● 台湾無印良品での「北九州つながる市」初開催に向けて
市長へ出発前のご報告を行いました 6
- ジェトロ ● 中小企業海外展開現地支援プラットフォーム随時申し込み受付中!
国際ビジネス番組「世界は今 -JETRO Global Eye-」随時配信中! 7
- ニュース ● アジア経済情報 8
- 貿易実務 ● 「貿易保険」をご存じですか? 9



公 社 法 人 北九州貿易協会

北九州市小倉北区浅野3-8-1 (AIMビル) 8F TEL093-541-1969 FAX093-522-5120 URL ■ <http://www.kfta.or.jp> E-mail ■ trade@kfta.or.jp



財務省
門司税関長

弓削 州司

『Cool Head, but Warm Heart (冷静な頭脳と温かい心)』

近代経済学の祖とされ、ジョン・メイナード・ケインズの師でもあるイギリスの経済学者アルフレッド・マーシャル(1842-1924)は、43歳でケンブリッジ大学の政治経済学教授に就任した際の演説で、経済学を学ぶ者の心構えとして「Cool Head, but Warm Heart(冷静な頭脳と温かい心)」という言葉述べたとされています。

この言葉には、論理的に物事を解明する冷静さと同時に、高い道徳心と人間的な温かさをもって社会問題に向き合うべきだという深い意味が込められています。経済学という枠を超えて、今日では人間社会に関わるさまざまな分野で引用されるようになっており、学問の世界だけでなく、実務の現場においてもひとつの重要な指針となる言葉だと感じています。私自身、この言葉を日々の業務や人との関わりの中で、自らを戒める座右の銘として心掛けるようにしています。

私は平成5年に防衛庁(現防衛省)に入省し、現在の財務省門司税関のほか、過去において外務省(在オーストラリア日本大使館)、経済産業省、京都府警での勤務もあり、防衛省以外のさまざまな行政機関、行政分野での勤務もしてまいりました。これまでの行政経験を通じて強く感じるのは、行政には単なる経済合理性や効率性だけでなく、相手の立場や事情などを踏まえた「やさしさ」や「思いやり」も同時に重要であるということです。

たとえば、私たち税関は、安全・安心な社会の実現を目指し、テロ関連物資や薬物、銃器などの密輸出入を水際で取り締まっています。その一環として、日本に入国する旅客や、日本に輸入される貨物に対して厳格に検査を行っていますが、これらの取組は、入国旅客や輸入者が望むスムーズな入国や迅速な通関と、時に相反する結果をもたらすことがあります。そのようなときこそ、私たちは検査を受ける側の立場に立ち、真摯に、そして丁寧に対応する姿勢が求められると考えています。

私はこれまで、「世の中に理解される行政」の実現を意識しながら業務に取り組んでまいりました。そしてこれからも、冷静な判断力と温かい心をもって、国民に信頼される行政を目指して努力を続けていきたいと考えています。

弓削 州司



「佐藤一斎 像」
渡辺華山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉元総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのバイブル的存在。

(参考:ウィキペディア)



公益社団法人 北九州貿易協会
会長 小野 裕和



北九州市長
武内 和久

国際ビジネスの各種環境を整え、北九州地域の経済振興に貢献

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
会員及び関係の皆様におかれましては、平素より当協会の運営にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、何とんでも米国・トランプ政権の一連の関税措置に振り回された1年でした。加えて、米中の分断・競争に伴うサプライチェーンの分断も世界経済に大きな影響を与えました。

一方で、MLBで大谷翔平選手が3年連続4度目のナ・リーグ最優秀選手(MVP)を受賞したほか、ワールドシリーズで獅子奮迅の大活躍をした山本由伸投手がシリーズMVPを獲得するなど、日本人の心を熱くし勇気づける出来事もありました。

さて、昨年10月21日に高市早苗氏が第104代首相に就任し、日本初の女性首相が誕生しました。高市首相は日本経済の力強い成長の実現を目指すこととしており、今後、具体的にどのような政策が打ち出されるのか期待しているところです。

その一つとして、17の重点投資分野への多角的な支援と8つの分野横断的課題への対応を講じるとしており、我々企業としてもこうした政府の動向にアンテナを張り、自社のマーケティング戦略に活かしていくことも必要であると考えます。

海外ビジネスに目を転じると、米国では、これまでの関税賦課に加えて中・大型トラック及び同部品やバスに対する追加関税措置が発動されるなど、トランプ関税を巡る不確実性は未だに拭えません。また、幾つかの国・地域で起こる終わりの見えない戦争・紛争といった地政学リスクも解消されていません。

当協会としても、こうした国際情勢に関する各種情報を会員等の皆様に適宜発信するとともに、貿易実務講座の開催や専門アドバイザーによる相談対応、駐大連北九州市経済事務所を拠点とした中国ビジネスの支援など、会員の皆様が国際ビジネスに取り組む各種環境を整えていくという役割を引き続き担っていき、北九州地域の経済振興に貢献できるよう努めてまいります。

会員の皆様におかれましては、当協会へお気軽にご相談いただくとともに、当協会の事業をぜひご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝・ご多幸と事業の益々の発展を祈念するとともに、2026年が皆様にとって実り多き一年となることを期待いたしまして、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

『いま、北九州市がおもしろい — 潮目が変わった都市の力』

新年おめでとうございます。
昨年は、街のにぎわいが市内全域に広がり、暮らしの実感としても大きな変化が見えた一年でした。北九州市のポテンシャルが花開き、「潮目が変わった」と実感できる前向きなうねりが、確かな手応えとして根づきつつあります。

まず、その変化は数字が示しています。企業誘致による投資額、北九州港・空港の貨物量、小倉城の入場者数、U・Iターン就職者数、モノレール乗車数、ふるさと納税額——いずれも市政史上最高を記録しました。「住み続けたい」と答える市民は84%に達し、人口動態でも60年ぶりの転入超過を実現しました。
これらの成果は、北九州市の「稼ぐ力」と「選ばれ続ける力」の確かな伸びを物語っています。

にぎわいづくりも質・量ともに前進しました。「すしの都 北九州市」の挑戦、「クロサキスイッチ」での大規模イベント、「うたのまち北九州市」、スケートボードの世界大会など、人の交流を生み出し、都市ブランドを力強く押し上げています。北九州市の存在感は国内外に確かに広がりました。

こうした勢いに呼応し、民間投資も確実に拡大しています。且過市場の再生、物流施設の建設決定、デジタル企業の集積などが街の活性化を牽引しました。空港の貨物施設整備や戸畑枝光線の開通など、産業と交流を支える基盤も整い、投資環境はさらに高まっています。

「女性」と「サステナブル」の取組も進展しました。多くの女性の声を政策に反映し、環境・コミュニティ分野の改革も着実に形になっています。また、行政サービスの改善、学校給食の充実、保育料軽減など、市民の暮らしを支える改革も地道に前進しました。

そして今年は、「シニアの力」と「暮らしやまちの彩り」も花開くよう挑戦を続けます。「歳を重ねることが楽しみになるまち」「暮らしが日々良くなると実感できるまち」を目指し、少子高齢化や人口減少といった日本の先端課題の解決に、北九州市がフロントランナーとして挑戦します。

そして、この流れを力に北九州市は、“日本一、民間投資がしやすい都市”を目指していきます。
そのために、様々な支援や規制緩和に取り組み、企業や人が挑戦できる環境を整えます。

同時に、物価高などの逆風の中でも、市民の暮らしを守り、働く人・支える人・地域を豊かにしていくことに力を注ぎます。

投資を呼び込み、地域を支え、双方が高め合う—この両輪で北九州市の未来を切り拓きます。

皆さまにとって、新しい一年が暮らしの実感と彩りに満ちた年となるよう、力を合わせてまいります。

ますます「おもしろい」北九州市の歩みに、どうぞご期待ください。



未来へ羽ばたく北九州空港



北九州エアターミナル株式会社 代表取締役社長 鮎川 典明

北九州空港について

現在の北九州空港は、旧空港を引き継ぎ、2006年に関西以西で唯一の24時間運用可能な海上空港として開港しました。以来、北部九州のビジネス・観光の拠点として、また九州・西中国随一の物流拠点空港として、着実に成長を遂げてきました。

現在、旅客便は3路線（国内線：東京（羽田）、国際線：ソウル（仁川）、清州（チョンジュ））と、貨物便は、国内線が4路線（東京（羽田・成田）、新千歳、那覇）、国際線が2路線（ソウル（仁川）、中国・深圳）運航しています。

2026年3月16日、北九州空港は開港20周年を迎えます。この節目にあたり、北九州空港はさらなる飛躍を目指し、様々な取り組みを行っています。

それでは、北九州空港の未来を拓く3つのトピックスについてご紹介します。



朽網駅特急ルートによるアクセス改善

まず、2025年の北九州空港にとって大きなニュースは、4月1日、空港最寄りであるJR朽網（くさみ）駅への特急停車（1日上下10本）が実現したことです。これは開港以来の長年の悲願でもありました。

特急停車に合わせて、接続する空港連絡バスも快速の新設や運行本数の増加（1日40往復）により、朽網駅や空港での待ち時間が短縮されました。アクセス強化によって折尾・黒崎方面への時間短縮はもとより、博多や大分・別府からの利便性・速達性も向上しています。

特筆すべきは、特急利用者向けに導入された「北九州空港きっぷ」です。MaaS機能を持ったアプリ（my route、QRチケレス）を使うことで、折尾・黒崎から北九州空港まで、特急とバスのチケットを大変お得に一括で購入できることから、大きな反響をいただいております。

北九州空港が「便利で使いやすい空港」としての評価を高められるよう、今後も快適な空港アクセスの提供について、さらに関係者の皆様に要請してまいります。



過去最高の貨物取扱量と国際旅客路線の新規就航

九州・西中国地域で唯一、貨物専用定期便が就航する北九州空港の周辺には、半導体関連製品や自動車関連部品など、ハイテク産業・企業が多く立地しており、物流拠点として重要な役割を担っています。すでに国際貨物定期便が2路線就航し、空港圏域の国際競争力の強化に貢献しています。

4月に発表された2024年度の貨物取扱量は、国内・国際合計で約3.7万トンと、前年度の約3倍、最盛期だった2021年度と比較しても約1.7倍と過去最高の取扱量を更新しました。

特に2024年4月、ヤマトグループ・JALグループによる国内貨物定期便が新規就航し、その後路線ネットワークが拡充されたことで、北九州空港の輸送サービスが強化され、荷主企業の利便性が大幅に向上しました。

2027年度の滑走路3000m化を見据え、既存路線の定着だけでなく、新規路線の誘致、貨物地区の機能強化に取り組み、物流拠点化の推進に努めていきます。

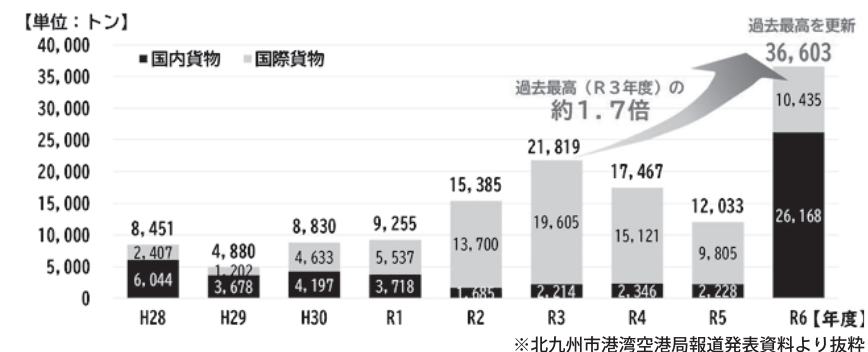
旅客便では、2025年9月30日、韓国のLCC（格安航空会社）エアロKが、北九州～清州間に定期便を就航しました。北九州空港にとって、国際旅客便の新規就航は約6年ぶりとなります。

就航先の清州は、韓国中部に位置し、教育・文化都市として知られるとともに、半導体やバイオ産業が盛んな地域でもあります。

清州線は週3便（火・木・土）運航され、利便性の高い運航スケジュールが組まれています。飛行時間はわずか1時間15分ほどで、手軽に海外旅行を楽しむことができます。

清州線の就航は、北九州空港利用者にとって韓国旅行の選択肢が広がるだけでなく、韓国中南部からのインバウンド客の増加が見込まれます。今後は同地域とのビジネス・観光・文化などの分野で交流が活発になることを期待しています。

北九州空港航空貨物取扱量 令和6年度 国内・国際貨物取扱量合計：36,603トン
（国内：26,168トン、国際：10,435トン）



開港20周年記念事業

最後に、北九州空港は2006年3月16日の開港以来、たくさんの利用者や関係者に支えられて成長してきました。この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。

本年3月16日の開港20周年を迎えるにあたり、地元の皆様への感謝の気持ちと地域活性化への貢献、北九州空港の未来への飛躍の思いを皆様と共有するため、リレー式イベント「開港20周年記念事業」を今まさに展開しているところです。

スタートは昨年10月26日に開催した、拡大版「空港まつり」。本事業のキックオフイベントとして、皆様から大きな反響をいただき、一昨年の約1.3倍、約7,000人の来場者を迎え、大盛況となりました。

これを皮切りに、多彩な催しを約1年かけて実施していきます。例えば、空港圏域の市町村と連携して、特産品を集めたマルシェの開催や空港をメイン会場としたサイクリングや謎解きなどのイベント、さらには格納庫や滑走路といった、普段は立ち入ることのできない空港の裏側を体験するツアーなど、ここではお伝え出来ないほど満載の企画を準備して、皆様をお待ちしています。



結び

北九州空港は開港20周年を迎え、旅客・物流ともに地域と世界をつなぐハブとしての存在感を高めています。これらの取り組みは、空港の利便性や魅力を高めるだけでなく、北九州地域全体の活性化にも寄与するものです。

さらに、2027年8月末の滑走路3000m化工事が完了した暁には、欧米への貨物直行便の運航が可能となります。北九州空港は地域の未来を拓く拠点として、これからも皆様とともに歩み続けていきます。これからも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】 北九州エアターミナル株式会社 プロモーション部 加藤
TEL: 0570-05-4195 MAIL: promotion@kitakyu-air.co.jp

台湾無印良品での「北九州つながる市」初開催に向けて 市長へ出発前のご報告を行いました

北九州市は、市内企業の海外販路開拓支援の一環として、台湾無印良品2店舗（松高店・大立店）で、地域の魅力を発信するイベント「北九州つながる市（北九州聯結市集）」を初めて開催します。

今回、イベント実施に先立ち、令和7年11月21日（金）に市役所にて、武内市長に対し出発前の表敬報告を行いました。

本事業は、台湾・高雄市との連携協定締結後初となる現地での経済交流イベントであり、市内企業の優れた商品や技術、デザインを国内外に発信する重要な機会となります。



表敬では、株式会社小倉縞縞の築城専務（右掲載写真 左から4人目）より、本事業の概要をご説明いただくとともに、市内企業の皆さまが武内市長と和やかに歓談する場となりました。

武内市長からは、「北九州市の持つ奥行きある魅力が台湾の皆さんにもきっと伝わるはずだ」「ぜひ旋風を巻き起こしてほしい」との力強いコメントが寄せられ、本事業への大きな期待が示されました。

表敬には参加企業7社のうち5社にお越しいただきました。

- ・ **株式会社小倉縞縞**
靴、衣服、風呂敷、ハンカチ等
- ・ **株式会社米七**
草木染手ぬぐい、ガーゼハンカチ等
- ・ **有限会社音ワ**
帽子
- ・ **株式会社ITOHEN**
箸置き、ピンバッジ等
- ・ **アースディスカバリー株式会社**
輸出商社（台湾初進出）



他にも、現地では株式会社米七様による草木染体験ワークショップを行うほか、北九州市の観光PRブースを併設する予定です。

本市では、引き続き市内企業の海外発信を支援してまいります。

次号では、台湾でのイベント実施状況や成果をご紹介します。ぜひご覧ください。

【お問い合わせ先】

北九州市産業経済局国際ビジネス戦略課 担当：宮崎、小林 TEL:093-551-3605

1 中小企業海外展開現地支援プラットフォーム 随時申し込み受付中!

無料

20ヶ国26都市に配置されたジェトロ海外事務所の専門家が現地情報を提供します。
 海外展開の第一歩となる①現地情報提供サービス、次のステップとして②現地企業リストアップ
 サービス、さらに③商談アレンジサービスの3つのメニューをご用意しています。

メニュー1	メニュー2	メニュー3
情報提供サービス  市場性、競合商品、流通ルート、認証などについて専門家がレポート、またはオンライン面談にて提供します。 年間上限 : 4件	企業リストアップサービス  現地パートナー候補（販売先、提携先、調達先等）を10社ほどのリストにして提供します。 年間上限 : 3件	商談アレンジサービス  現地のパートナー候補にアプローチし、提案に対する関心の有無を確認し、関心を示した先には商談のアレンジを試みます。 年間上限 : 2件

2 国際ビジネス番組 「世界は今 -JETRO Global Eye」随時配信中!

ジェトロでは、国際ビジネス情報番組「世界は今 JETRO Global Eye」を配信中です。国内外のネットワークをフルに活用し、世界の経済・産業の最新動向や貿易・投資などの国際ビジネスに役立つ情報をインターネット番組として、毎週皆さまにお届けしています。

下記URL、または右のQRコードからご視聴下さい。

<https://www.youtube.com/@JETROGlobalEye/videos>

ビジネスのヒントが
10分でわかる!



世界は今
 JETRO Global Eye

これまでの番組

 万博閉幕世界の評価 海外報道の衝撃 記者に密着! 万博の先に見えた課題とビジネス 2025年10月16日	 アフリカに根ざす日本の技術 トモロコシの収穫が激増! 拡大するビジネスチャンス! 巨大市場 アフリカに挑む日本企業 英語版もあります 2025年10月2日	 インバウンド 消費拡大のゴツは? 四国産ビールおいしいね! インバウンド観光客からのヒント 瀬戸内の酒認知度UPへ 2025年9月25日	 日本が世界の田んぼで地球を救います! 日本の技術が世界へ! 田んぼから始まる未来のビジネス 2025年9月18日
--	---	---	--

【お問い合わせ先】 日本貿易振興機構 (JETRO) 北九州貿易情報センター
 TEL: 093-541-6577 MAIL: KIT@jetro.go.jp

アジア経済情報

～「北九州貿易協会ウィークリーニュース」より～

■北九州貿易協会ウィークリーニュースとは

「北九州貿易協会ウィークリーニュース」は、(株)エヌ・エヌ・エー (<http://www.nna.jp/>) の提供するアジアのビジネス情報、北九州市の海外事務所(大連)からの現地情報、国内外の経済情報、各種展示会情報などを満載して、毎週月曜日に北九州貿易協会会員の皆様にメール配信しています。

インド 2025.9.19

【勃興 半導体】日系企業、商機獲得へ加速 北西部の各州も投資誘致に注力

インド半導体産業の勃興に合わせ、日系企業が新拠点を設けるなど、商機獲得に向けた取り組みが同国で加速している。インド側も南部カルナタカ州や西部グジャラート州、北部ウタールプラデシュ州が半導体関連の投資誘致に力を入れている。
【Atul Ranjan】

半導体製造装置メーカーのTOWAは4月、自社製品の販売とアフターサービスを実施するため、インド子会社TOWAセミコンダクター・インドを設立した。TOWAがインド拠点を設立するのは今回が初めて。TOWAは後工程(チップの組み立てや検査)向け製造装置に強みを持ち、半導体を樹脂で覆う封止装置の世界シェアは6割以上を誇る。

半導体製造装置メーカーの東京エレクトロンも今月5日、装置の設計やシミュレーションなどソフトウェア開発を担う拠点を南部ベンガルールに設けたと発表した。インドでは首都ニューデリーにマーケティング拠点を持っているものの、開発拠点を設けたのは今回が初めて。新拠点は、装置の設計やソフトウェア開発に加え、インドの大学や学術機関と半導体の要素技術に関する共同研究を推進。優秀な人材の獲得や技術開発に必要なネットワーク構築にも取り組む。

分析・計測機器メーカーの堀場製作所も、インド半導体産業で商機獲得に動く。堀場は2006年9月、インド子会社ホリバ・インドを設立。現在、医療用試薬や自動車向け計測機器(MCT)をインドで製造している。インド半導体産業向けには試験や品質管理の機器を供給する考えだ。

ホリバ・インド幹部のパリクシット・セングプタ氏は今月5日、首都ニューデリーで開かれたビジネスパートナー向けミーティングで、「当社自らは半導体を製造しないが、製造工程で重要な役割を担っている」と話した。現在、自社のグローバル製品をインド向けに適応中で、前工程(ウェハー表面上に電子回路を形成)工場が数年以内に稼働すれば、大きな商機獲得を期待できると説明した。

◆ルネサスと3ナノ設計で協議

インド側も各州が半導体関連の投資誘致に力を注ぐ。カルナタカ州政府のパティル大・中規模産業・インフラ開発相を含む代表団は今月、日本を訪問。東京エレクトロン関係者と面会し、研究開発(R&D)や生産効率、材料分野での協力を議論した。

半導体メーカーのルネサスエレクトロニクス関係者とも面会。ルネサスが5月に拡張した州都ベンガルールのオフィスや、最先端の回路線幅3ナノメートル(ナノは1メートルの10億分の1)を設計する計画について話し合った。ルネサスにとってベンガルールのオフィスはインド最大の拠点。ソフトウェアなどR&Dに携わる多数の従業員が所属する。州政府は近接都市マイソールにもR&D機能を持つ拠点を設置するように提案した。

ウタールプラデシュ州も、ノイダを半導体産業の拠点に位置付け、積極的に動く。州政府のカンナ財務相を含む代表団は7月、東京と大阪を訪問し、カルナタカ州と同様、東エレクトロン関係者と面会。IT(情報技術)やR&D(研究開発)機能を持つ「グローバル・ケイパビリティ・センター(GCC)」設立に加え、製造、人材育成を巡り意見交換した。

グジャラート州では、電子部品製造の地場タタ・エレクトロニクス(TPEL)が最大9,100億ルピー(約1兆5,000億円)を投じ、ドレラで前工程工場を建設中だ。27年12月までの稼働を予定する。ドレラへの日系関係者の関心は高い。日系企業の視察団が年数回訪れているほか、今年は7月に駐インド日本大使の小野啓一氏、今月に岩手県副知事の佐々木淳氏が視察した。

◆「日系は装置や材料で専門知識」

インドでは現在、前工程工場も後工程工場も、大規模なもの一つも稼働していない。インド政府は、7,600億ルピーの予算を計上した「半導体・ディスプレイ製造エコシステム開発プログラム」など、巨額の補助金を準備。半導体の現地生産をいち早く開始・推進し、中国輸入を減らしながら国内の需要増に対応する。

多くの専門家は、今後2年間でインド半導体産業にとって正念場になると見ている。ドレラのような大規模工場が稼働すれば、製造装置や材料など半導体サプライチェーン(供給網)が発展する。

インド携帯電話・電子機器協会(ICEA)の関係者はNNAの取材に対し、「日系企業は製造装置や材料、試験技術に関する専門知識を持っている。日本の存在感がインドで拡大することは、『世界水準の半導体エコシステムをつくる』というインドの野望を加速するだろう」と述べた。



「貿易保険」をご存じですか？

取引相手企業の資金繰りが悪化しているかも・・・
輸出代金、ちゃんと支払われるかな・・・？

▲はじめての取引先だが前金決済に応じてもらえない。
▲これまでは後払いでも問題なく支払われているが、
取引金額が増えると心配だ。

「貿易保険」を掛ければ、貸倒れ損失に対して保険金が支払われます。

モデル保険料

例：契約金額100万円、船積後60日送金払いの場合
中小企業農林水産業輸出代金保険、格付EF格の場合

輸出先(支払国)	保険料
U.S.A.向け	6,340円(0.634%)
中国向け	8,240円(0.824%)

- 保険金は貸倒れ額の最大95%!
- 提携金融機関のご紹介で保険料が10%割引!
- バイヤーの信用調査料が8社まで無料!

・中小企業基本法に基づく「中小企業者」及び「農林水産事業者等(一部除く)」に限ります。
・NEXIの審査結果(格付及び個別保証枠)のみ通知し、調査報告書等はお渡しできません。

政府100%出資の保険会社 NEXIがサポートします!



日本貿易保険 大阪支店 大阪市中央区北浜3-1-22
TEL 06-6233-4018 0120-649-818 (フリーダイヤル)
E-Mail: sme-support-osaka@nexi.go.jp
ホームページ: <https://www.nexi.go.jp/>